

*東京ブロックは、「東京都重症心身障害プロフェッショナルナース育成研修」受講修了者の実践報告会が毎年1月に開催され、9施設が参加し情報共有等を行っています。

【島田療育センター活動報告】

① 認定としての活動報告

- ・令和5年度よりプロナースの会を立ち上げ、今後の活動についてアンケート実施。
- ・得意分野と学びたいことを挙げ、5チームに分かれ2~3か月ごとの検討会又はLINEでの情報共有を実施。
- ・年度末に各チームの活動報告をし情報共有を行う。

② 課題

- ・経験年数が高い職員へのモチベーションアップするための取り組み。
- ・利用者の高齢化に伴うACP・緩和ケアの取り組み。
- ・センター内でのプロナースの認知度を上げ後進を育てることや還元すること。

③ 今後の展望

- ・認定看護師の施設内外での活動機会の拡大。
- ・多職種との連携や介護スタッフへのレベルアップするための支援
- ・重心看護の専門性を高めていく活動の検討。

東京都立東部療育センターでの取り組み内容です。

① 認定としての活動報告

・職員教育や指導がほとんどです。重症化に伴う教育としてあえて取り組んでいる内容はありません。認定取得している職員は役職もついでおり、他の役職付の職員との違いは明確ではありません。

② 課題

・課題というか、職員不足が慢性化しており、重症化（当センターは人工呼吸器の稼働は4割超が常態化）しているにもかかわらず毎年看護師数が少なくなってきたため、業務をいかに効率化するのかというところに意識が向いています。

療育とは、と葛藤する職員も多いです。

・認定を持つことへのモチベーションが他施設よりも低いため、研修修了生は多いにもかかわらず、認定は2名です。認定を取得するための動機となるものが必要だと感じています。

・認定取得者は他の役割も重複して担っているため認定活動として時間をなかなか割くことができず、このようなことになっていると思います。

③ 今後の展望

・他の施設と協働したいという気持ちはありますが時間的にも人力的にも本当に難しいと感じています。

よろしくをお願いします。

東京都立東部療育センター
慢性呼吸器疾患看護認定看護師
中野 絵里子

東京ブロック

緑成会整育園活動報告

① 認定としての活動報告

- ・令和6年度より教育委員会が立ち上げられ、委員として参加。
- ・認定としての研修会の企画・実施。年3回開催。

全看護師参加目的で1テーマ2ヶ月実施。

※テーマの選定は職員からのアンケート実施し認定で決定。

→「重症新障害児者のフィジカルアセスメント」デモケースでアセスメントレポートを提出後、模範解答と質疑応答の資料回覧研修。

「重症心身障害児者とのコミュニケーション」～動画視聴し感想レポート提出。

② 課題

- ・人員不足、業務過多にてまとまった人数を集めての研修開催が困難。
- ・認定活動としての研修準備などが勤務時間内にできない。
- ・経験年数が浅い職員が多く、次世代育成が困難。

③ 今後の展望

- ・認定の役割などの認知を広めていきたい。
- ・現場に即した勉強会、実技指導など実施したい。
- ・指導者の育成